

東北福祉大学 通信制大学院

2025

募集要項



総合福祉学研究科

社会福祉学専攻
福祉心理学専攻



東北福祉大学
TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY

大学院をめざす方へのメッセージ

研究は楽しいです。

目の前で起きている複雑な事象を量的分析法で紐解く、
一人ひとりの経験を質的分析することによって、
新たな概念が抽出されます。

自然科学領域の研究のように明解な答えを得ることはできませんが、
問題を分析し、解決法を考え、その評価を積み重ねることによって、
徐々に目の前が晴れてくるような経験ができます。

総合福祉学研究科長

三浦 剛



総合福祉学研究科 3 つのポリシー（抜粋）

ディプロマ・ ポリシー

現代社会とそこで暮らす人々が直面するさまざまな問題を発見、解決し、
共生社会の構築をめざすための研究能力、高度な専門性を有すると認めら
れ、修士学位請求論文の最終試験に合格した者に「修士（社会福祉学）」
および「修士（福祉心理学）」を授与します。

カリキュラム・ ポリシー

共生社会の実現と人類の福祉へ貢献する人材の養成という本研究科の教育
研究上の目的の下、社会福祉学と福祉心理学に関する高度な専門知識・技
術と、その基盤となる理論を学修します。社会と人間にかかわる諸問題に
対する視点、その解決のための方策を理論的に学修し、修士学位請求論文
としてまとめます。

アドミッション・ ポリシー

すべての人がよりよく生きること (Well-being) を可能にする共生社会の
実現に寄与したいという熱意を持ち、社会福祉学、福祉心理学の知識・技
術を高めるための研究する力、実践する力を身につけたいという方の入学
を希望します。

※各専攻のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーは、P.24～28 をご参照ください。

あなたの研究心を あなたの力に

東北福祉大学は、明治8(1875)年創立の曹洞宗専門支校が前身です。

昭和37(1962)年に4年制大学となり、

日本の福祉を第一線で担う有為な人材を社会に送り出してきました。

「行学一如」を建学の精神とし、学問研究と実践の調和をはかる人材育成をめざしています。

通信制大学院は、2002年4月に開設されました。

東北初の大学院通信教育として、高度専門職業人の育成をめざしています。

わが国の人口の減少、少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化などにより、

私たちの直面する問題は複雑化、多様化しています。

このような社会問題に対し、2017年、政府は「我が事丸ごと地域共生社会づくり」を目標に掲げ、

地域福祉の理念を推進し、地域での課題に対応する相談支援体制の構築をめざしました。

2020年には、地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法等の一部が改正されました。

地域での私たちの生活課題を解決するため

包括的な支援体制の整備がさらに強化されることになります。

包括的な支援体制において必要とされるのは、

社会を変革していこうとする視点と、その中で支援を必要とする人々への

かわりの専門性ではないでしょうか。

社会福祉の価値に支えられた支援理論や、心理学的知見に基づく対人援助が、

これまで以上に求められています。

建学の精神に「行学一如」、教育理念に「自利・利他円満」を掲げる

本学の通信制大学院では、そうした社会的要請に応えるために、

社会や地域、家庭での課題を抽出し解決策を導く力、

いわゆる「研究する力」が問題解決に有効であると考え、

職業人としての経験を理論づけたい、新たな問題解決をめざし研究したいと考える方々や、

学部などで一般的ならびに専門的教養の上に、

より高い専門性や研究力を身につける環境を整備しています。



より深く福祉学や心理学を学んだ人材は、
あらゆる現場で、その力を発揮します。

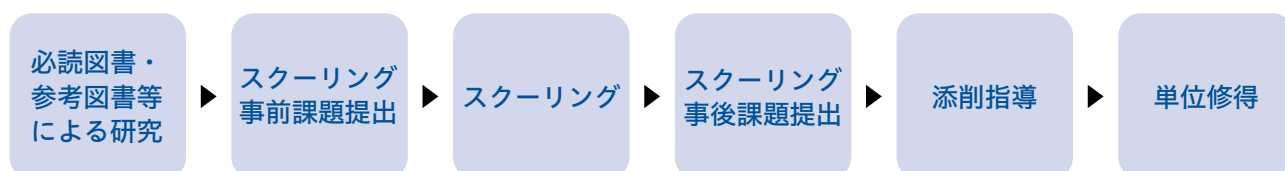
履修方法

自らの日々を大切にしながら研究したい方に、
学修しやすい環境を提供しています。

スクーリングは、多くの科目でインターネットを利用して開講しています。
履修方法「R」科目の単位修得試験は自宅で行うレポート形式です。

履修方法 **SR** テキストによる学修とスクーリングによる学修を併用

- 1) スクーリング前に課題に取り組み、事前または当日に提出。
- 2) スクーリング形態は科目により異なり、動画＋リモート or 対面の混合型、全コマ対面で日程が連続する集中型・分割する分散型がある。形態により対面 1～3 日間のスクーリングに出席。一部科目では通学授業（動画）を視聴し質疑応答をリモート or 対面で行う通学並行型を実施。
- 3) スクーリング受講後、事後課題のレポートを提出（4,000 字程度）。
- 4) 両専攻で単位修得が必須となる研究法に関する科目のスクーリングは、下記のとおり受講。
 - 社会福祉学専攻「修士論文研究計画法概論」：自宅動画視聴＋リモート 1～2 日間受講
 - 福祉心理学専攻「福祉心理学研究法特論」：自宅動画視聴＋本学で 2 日間受講（実技含む）
- 5) 社会福祉学専攻の必修科目「研究指導（論文指導）」は、通学課程と合同の研究発表会を実施。



履修方法 **R** テキストによる学修（福祉心理学専攻のみ）

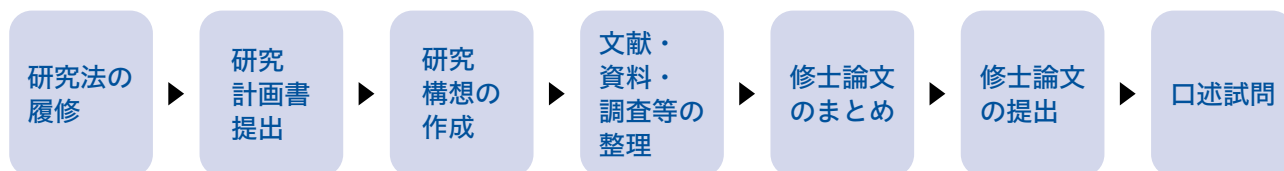
- 1) 規定の 2 課題についてレポート（1 課題 4,000 字程度）を提出。
- 2) 2 課題のレポートに合格した後、自宅で単位修得試験を受験。
- 3) 修了までに必修科目 2 単位と選択講義科目 16 単位の修得が必要。





修士論文（正科生のみ）

- 1) 論文提出の「前年度に」各専攻の研究法に関する科目の単位を修得。
- 2) 社会福祉学専攻：1年目の6～7月に具体的な研究計画書を提出し、演習担当教員を決定。
福祉心理学専攻：1年目の9月に具体的な研究計画書を提出し、指導教員を決定。
- 3) 社会福祉学専攻：1年目に「修士論文研究計画法概論」「社会福祉学研究演習Ⅰ」の単位を修得。「研究指導（論文指導）」の前半を受講。
福祉心理学専攻：1年目に「福祉心理学研究法特論」および演習科目を含む12単位を修得することで、2年目に修士論文作成が可能。
- 4) 社会福祉学専攻：1年目に修士論文構想発表会、2年目に中間報告会・最終報告会で発表（リモート可）。
福祉心理学専攻：論文を提出する年度に「構想」「文献や資料・調査等の整理」「まとめ」の3つの段階で、レジュメ提出。指導教員の判断のもと、最低3回の面接指導（本学＋1～2回リモート）や通信指導（メールや郵送）を受け、まとめる。面接指導日程は、教員と調整することができる。
- 5) 最終試験となる口述試問（本学）を受ける。



正科生 修了要件

- 1) 修業年限：2年
最長在学年限：4年（最長休学期間2年を含まず）
- 2) 各専攻で定められた30単位を履修し、修士論文を提出・合格し、かつ最終試験（口述試問）に合格。



社会福祉学専攻

授与学位 修士（社会福祉学）

児童、高齢の方、身体や精神に障がいをもつ方の心理や行動、介護のあり方等ミクロ面から、地域福祉や社会保障、福祉政策等マクロ面まで、幅広い分野での研究指導体制が整っています。社会福祉に関する分野の理論、制度・政策、実践を修得し、諸問題を解決するための研究力や実践力を身につけます。

主な担当教員（五十音順） >>> 教員紹介は本学ホームページで詳しく掲載しております。



大島 巖 先生
(副学長)

専門

ソーシャルワーク/精神保健福祉
論/福祉プログラム開発と評価

制度のはざまに苦しむ人たち(精神障害のある人々等)への有効な支援サービスの開発のあり方を、福祉プログラム開発と評価の観点から皆さんと一緒に考えたいと思います。代表著書:『マクロ実践ソーシャルワークの新パラダイム〜エビデンスに基づく支援環境開発アプローチ:精神保健福祉への適用例から』有斐閣(単著)



三浦 剛 先生
(研究科長)

専門

障害者福祉/社会福祉
調査

障がい児者の地域生活支援、社会福祉実践の評価と数量化、社会福祉専門職養成・研修等の研究をしています。著書・論文:『発達障がい児の早期療育システムにおける保健とソーシャルワーク―職種間連携と発達支援としての統合―』日本保健福祉学会誌、2013 他



石附 敬 先生
(専攻主任)

専門

高齢者福祉/社会老
年学

重度要介護高齢者の在宅支援、認知症スティグマの低減方策など、高齢者福祉領域における利用者や家族支援に関わる研究に取り組んできました。著書・論文:『地域包括ケアにおける重度要介護高齢者の支援』日本老年社会学会、2018 他



阿部裕二 先生

専門

社会保障/公的扶助

国民の生活問題に視点をおきつつ、社会保障の体系化や総合化、多様化する貧困概念と生活実態に即した生活困窮者支援のあり方、地域における居場所づくりなどをテーマに研究を進めています。著書・論文:『格差社会論(第3版)』同文館、2023 他



大石剛史 先生

専門

地域福祉/福祉教育

地域の中で、人々がケアしあいながら共に生きていく社会(ケアリングコミュニティ)のあり方を哲学的に研究しています。著書・論文:『多文化共生のための福祉教育・ボランティア学習のあり方の批判的検討』日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要、2022 他



加藤伸司 先生

専門

認知症ケア/高齢者
心理学

認知症ケアに係る諸問題(当事者支援、家族支援、権利擁護、地域支援等)について調査研究事業、教材開発、研修企画の他、高齢者虐待防止に関する調査研究を行っています。著書・論文:『老年臨床心理学の可能性と課題』老年臨床心理学研究、2019 他



狩野俊介 先生

専門

医療福祉/精神保健福祉/
臨床ソーシャルワーク

医療領域における事前の意思決定の方略として、アドバンス・ケア・プランニングやクライシス・プランを効果的に用いるための方法(実装研究)、さらに他領域への応用可能性について研究しています。著書・論文:『危機がチャンスに変わる クライシス・プラン入門:精神医療・保健・福祉実践で明日から使える協働プラン』中央法規出版、2024 他



齋木しゅう子 先生

専門

内部障害

運動療法実施時には確実なリスク管理の実施下で安全で効果的な運動療法の実践が求められる。内部障害の病態を理解し、急性期〜維持期へと経過する中でリスク管理と安全で効果的な運動処方実践は、心身機能や活動量向上を促しQOLの向上につながると考え、研究をすすめている。著書・論文: Changes in serum hypoxanthine levels by exercise in obese subjects (Metabolism、2000)



佐藤善久 先生

専門

作業療法/障害科学/
教育学

従来は福祉施設ケアや介護保険制度、脳血管障害者の生活障害を課題としたが、近年は人材育成・教育学をテーマに研究しています。著書・論文:『作業療法参加型臨床実習 その理念と実践』医歯薬出版、2023、「作業療法教育評価の課題とこれから」作業療法教育研究、2021



菅原好秀 先生

専門

権利擁護と法/リスク
マネジメント

意思決定支援など利用者の「権利擁護に必要な法制度」、介護事故など利用者の「リスクマネジメント」をテーマに研究しています。代表著書・論文:『リスクマネジメントと法』建邦社(単著)、2020 他



高橋誠一 先生

専門

地域福祉/福祉経済

小規模多機能事業の運営と住民の地域福祉活動、情報技術の福祉への影響を研究テーマにしています。共著・報告書:『地域共生社会の実現に向けた包括支援体制構築に必要な緊急一時支援に関する調査研究事業』厚生労働省補助事業、2020 他



竹之内章代 先生

専門

女性・児童・家庭福祉

認定社会福祉士制度スーパーバイザー。知的障がい児者の地域生活支援のため家族への視点や地域における支援システムの必要性について研究しています。著書・論文:『地域における多機関が連携した就学支援の実際』発達障害研究、2016 他



田中 尚 先生

専門

ソーシャルワーク

認定社会福祉士制度スーパーバイザー。ソーシャルワーク理論における実践での応用とその評価に関する研究を行っています。著書・論文：「スクールソーシャルワークの展開の今日的意義」若手県立大学社会福祉学部紀要（第15巻）、2013 他



萩野寛雄先生

専門

政治学／社会福祉学

フィンランド福祉国家やイノベーションエコシステムを研究してきました。著書：『新世界の社会福祉 北欧』旬報社、2019『New Ways OF Promoting Mental Well-Being And Cognitive Function』（LAUREA、2018）



元村智明先生

専門

日本近現代福祉史

近現代日本の「福祉」概念と社会福祉の成立について追究しています。著書・論文：編著『日本の社会事業—社会と共同性をめぐって—』（科学研究費補助金）社会福祉形成史研究会、2010年および共著『博愛社の史的研究』六花出版、2023 年他

社会的ニーズに応えた多様な分野のカリキュラムで、福祉の現場における複合的な課題解決に向けて自らを高めていきます。

授業科目一覧 修了要件：総計 30 単位以上修得 ※1

	授業科目	配当年次	単位数			履修方法 P.4 参照	備考
			必修	選択必須	選択		
研究指導科目	修士論文研究計画法概論 ※4	1 ※3	1			SR	4 科目 7 単位必修
	社会福祉学研究演習 I	1 ※3	2			SR	
	社会福祉学研究演習 II	2	2			SR	
	研究指導（論文指導）※4	1・2	2			SR	
共通基礎科目 ※2	社会福祉原論	1・2		2		SR	1 科目 2 単位以上 選択履修
	ソーシャルワーク論 ※4	1・2		2		SR	
	ソーシャルワークリサーチ・研究方法論 （実践研究・実証研究の方法）	1・2		2		SR	2 科目 4 単位以上 選択履修
	社会福祉歴史研究・学説史研究の方法	1・2		2		SR	
	情報解析方法論	1・2		2		SR	
	質的研究方法論	1・2		2		SR	
選択科目	福祉プログラム開発と評価 ※4	1・2		2		SR	9 科目 17 単位以上 選択履修
	生活困窮者支援と貧困研究 ※4	1・2			2	SR	
	社会福祉法制・権利擁護研究 ※4	1・2			2	SR	
	子ども・家庭と女性福祉研究 ※4	1・2			2	SR	
	高齢者福祉研究 I ※4	1・2			2	SR	
	高齢者福祉研究 II（認知症ケア研究）	1・2			2	SR	
	高齢者福祉研究 III（地域連携・多職種連携）	1・2			2	SR	
	障害者福祉研究 I ※4	1・2			2	SR	
	障害者福祉研究 II（基礎的理解と臨床）	1・2			2	SR	
	精神保健福祉研究	1・2			2	SR	
	医療福祉研究 I	1・2			2	SR	
	医療福祉研究 II（地域連携・多職種連携）	1・2			2	SR	
	地域福祉研究	1・2			2	SR	
	福祉経営・マネジメント研究 I	1・2			2	SR	
	福祉経営・マネジメント研究 II（リスクマネジメント研究）	1・2			2	SR	
	国際福祉研究	1・2			2	SR	
	災害福祉研究	1・2			2	SR	
	身体機能障害特論	1・2			2	SR	
	特別研究講義 I	1・2			1	SR	
	特別研究講義 II	1・2			2	SR	
	実践事例検討とスーパービジョン	1・2			2	SR	

※1 修了要件は、研究指導科目 7 単位、共通基礎科目 6 単位以上、選択科目 17 単位以上で、合計 30 単位以上を履修すること。

※2 共通基礎科目で規定の単位以上修得した単位は、選択科目の単位数に含めます。

※3 1 年目に単位修得が必要です。

※4 認定社会福祉士研修認定科目です。

※上表について、科目によっては 2025 年度に開講されない場合があります。

修了までの流れ

全科目において担当教員の授業を行います。授業の方法※は、主に自宅で受講できるオンデマンド（動画）と対面（会場またはリモート）を組み合わせた混合型の授業となります。

※科目によりオンデマンドと対面のそれぞれのコマ数のバランスは異なります。

1 年目 修士論文作成の準備期間。研究の方法を中心に学修します。

1 年目は、スクーリングを受講し、レポートを提出します。教員や他受講生と話すことで、自らの研究について気づきがあったり、学修に対するモチベーションを保つことができたりします。

また、修士論文作成のため、研究法に関する科目を履修します（詳細は P.4）。

〈1 年目の例〉

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
入学式・ガイダンス ※出席任意	スクーリング（一部 10～2 月） ●「修士論文研究計画法概論」「社会福祉学研究演習Ⅰ」「研究指導（論文指導）」等を 1 年目に履修 ※オンラインによる授業・リモートなど				
履修登録		修士論文 中間報告会 出席			
教材配本		学位請求 論文研究 計画書提出	演習担当 教員決定		
研究開始 ●科目のレポート作成・提出					
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
修士論文 構想発表会 出席発表		修士論文 第 2 回中間報告会 出席		修士論文 最終報告会 出席	
●科目のレポート作成・提出			研究倫理審査申請		



修士論文題目例

- 孤独・孤立対策ネットワーク形成のためのアウトリーチ支援体制の一考察 ―青森市地域包括支援センターの連携・相談事例について―
- 社会福祉協議会の経営戦略と今後の課題についての一考察 ―過疎地域における市町村協の経営分析を通して―
- 認知症グループホームにおける入居者本人の看取りの意思決定支援モデルの開発 ―認知症支援者へのインタビュー調査から―
- 日常生活自立支援事業における権利擁護の実践の考察 ―専門員の日々の活動を通じて―
- 不登校児童生徒や家族へのフリースクールのかかわりの現状と果たすべき役割に関する考察

2年目 1年目での学修を活かし、修士論文を作成します。

2年目では、1年目で学修した研究指導や共通基礎科目を活かし、修士論文の作成を中心に、教員の指導のもと各自研究を進めていきます。研究の対象などにより研究倫理審査を受け承認を得る必要があります。修士論文報告会などで各自の研究について発表します（詳細はP.5）。

〈2年目以降の例〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
履修登録		スクーリング（一部10～2月） ●「社会福祉学研究演習Ⅱ」「研究指導（論文指導）」等を2年目に履修			
教材配本					
研究倫理審査申請		修士論文 中間報告会 出席発表			
10月	11月	12月	1月	2月	3月
修士論文 構想発表会 出席		修士論文 第2回中間報告会 出席発表	修士論文 提出	修士論文 最終報告会 出席発表	学位記 授与式 ※出席任意
				修士論文 口述試問 ※1日	



福祉心理学専攻

授与学位 修士（福祉心理学）

※臨床心理士・公認心理師の受験資格は取得できません。

心理的支援を必要としている人びとを援助できる人材の育成。さまざまな心理学領域の研究活動を通して、個人から社会の広義の福祉に幅広い心理的知見を持ち心理的援助・実践する力を高めます。

さまざまな心理学の領域について、文献研究や演習を通して心理学理論の理解と問題解決・研究の力を高め、自らの研究課題について心理学の研究法に則り研究を進めます。これらの活動を通して、発達支援、コミュニケーション、こころの健康、学校・家庭教育、問題行動の生起や改善、高齢者の心理等広く学び、心理的支援を必要としている人びとに対して実践的に支援する知識と技術、考え方の修得をめざします。

主な担当教員（五十音順） >>> 教員紹介は本学ホームページで詳しく掲載しております。



佐藤俊人 先生
(専攻主任)

専門

発達心理学／福祉心理学

保健師、看護師、教諭、保育士、人事担当者などと連携した実務経験を踏まえ、心理学を広く人のウェルビーイングに応用する方略を検討しています。著書・論文：『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、2019 他



加藤伸司 先生

専門

高齢者心理学／認知症ケア

認知症ケアに係る諸問題(当事者支援、家族支援、権利擁護、地域支援等)について調査研究事業、教材開発、研修企画の他、高齢者虐待防止に関する調査研究を行っています。著書・論文：『老年臨床心理学の可能性と課題』老年臨床心理学研究、2019 他



武村尊生 先生

専門

臨床心理学／リエゾン精神医学

総合病院精神科や麻酔科・疼痛緩和における心理学的支援や、高度専門職種として心理職が果たすべき役割について研究を行っています。著書・論文：『精神科リエゾンチーム活動指針(日本総合病院精神医学会治療指針9)』星和書店、2019 他



中村 修 先生

専門

健康心理学

主に青年期から成人期への移行という発達の問題に対して、ストレス及びストレスコーピングという視点から理解を深めようとしています。著書・論文：『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、2019 他



中村恵子 先生

専門

学校心理学

不登校に対する別室登校法の開発が研究テーマです。インタビュー調査での質的研究からモデル生成を行います。著書：『不登校支援の学校心理学プラクティス：学校と適応支援教室で活用する集団社会化療法と別室登校法』ナカニシヤ出版、2022 他



半澤利一 先生

専門

司法・犯罪心理学／臨床心理学

司法・矯正・更生保護領域や保健福祉領域など、人と社会が関わる場面における理解や心理・社会的支援についての効果的な方法を研究しています。著書・論文：『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、2019 他



平川昌宏 先生

専門

発達心理学

「気になる」子や障がい児に対する保育、さらにはそのような子どもたちも含めたクラス作りの支援や子どもの描画活動とその発達に関してシンボル発達の観点から研究を行っています。著書・論文：『シードブック 保育の心理学』建帛社、2019 他



吉田綾乃 先生

専門

社会心理学

対人コミュニケーションにおける情報処理過程とワーキングメモリキャパシティの関連について研究を行っています。論文：『政治的イデオロギーの個人差と極性化に関する研究動向』感性福祉研究所年報(第23号)、2022 他



授業の科目名と概要	担当教員名	配当 年次	単位数		履修 方法 P.4 参照
			必修	選択	
【必修科目】 12 単位必修					
福祉心理学特論 レポート 2 本 + 在宅レポート試験で単位修得	佐藤俊人	1・2	4		R
福祉の現場において心理的支援を考える際に重要になる「対象者の無気力状態」の発現のメカニズムを理解し、その予防と具体的な対処法を修得する。					
福祉心理学研究法特論 レポート 2 本 + スクーリング (自宅 + 動画 + 本学で実技 2 日間) で単位修得	中村 修	1・2	2		SR ※ 1
心理学に関する研究課題を自ら設定して心理学研究法を用いて研究を進めていくために必要な知識・技術を修得する。					
福祉心理学特別研究 (修士論文作成)	演習科目 担当教員	2	6		SR
レジュメ提出3回 + 面接指導3回 (本学・1～2回リモート) + 通信指導 + 修士論文提出 + 口述試問で単位修得 原則として、履修した選択演習科目に対応した各自の研究テーマや問題意識を研究に結びつける。先行研究の文献研究により扱う要因を整理し、仮説を立て、それに応じて実験、調査、面接や観察等の手法を通してデータを収集して統計的分析をした上で考察する。何らかの問題を抱えている人に対する心理的支援を考える場合に、実学的な提案に結びつくように、結果や考察をどのように応用できそうかを考えながら研究計画を立てる。詳細は P.30 ～ 31 を参照。					

【選択講義科目】 レポート2本+在宅レポート試験で単位修得 16 単位以上選択履修					
心理学的な理論と支援	文献研究を通して、福祉、教育、医療、司法をはじめ、日常生活の中で心理学理論がどのように関連づけられているかを学び、問題意識を高めると同時に、演習科目、特別研究への関心を高める。7つの心理学領域に関する講義が準備されている。それぞれの領域における研究テーマはおおよそ以下のようなものである。				
心理学的な理論と支援 (発達心理学)	発達心理学の基礎的理論と知見の理解と応用	平川昌宏	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (学校・教育心理学)	学校臨床の実践的課題の理解と問題解決理論の修得	中村恵子	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (社会心理学)	社会的認知の観点に基づく人間行動の理解	吉田綾乃	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (臨床心理学)	力動的心理学の過程とその背景となる理論を理解する	武村尊生	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (健康心理学)	健康をもたらす要因は何か：個人特性と環境要因、及びそれらの相互作用	中村 修	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (司法・犯罪心理学)	司法・犯罪心理学の視点	半澤利一	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (高齢者心理学)	生涯発達心理学の視点から高齢者や認知症者に関連する理論と全人的ケアの実践を理解する	加藤伸司	1・2	4	R

【選択演習科目※2】 事前課題+スクーリング3日間受講+事後レポート提出で単位修得 2 単位以上選択履修					
心理学的な支援と応用演習	選択講義科目のそれぞれの心理学的領域に対応した演習科目であり、スクーリングを通して自らの問題意識、研究テーマを深めるものである。心理学的支援の実例等に触れながら心理学の応用可能性について学ぶ。この演習科目は特別研究へつなげるものである。それぞれの心理学領域での研究対象はおおむね以下のようなものである。				
心理学的な支援と応用演習 (発達心理学)	発達心理学の知見を子どもの養育とその支援に活用する	平川昌宏	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (学校・教育心理学)	学校臨床の起因と解決方法を考察する	中村恵子	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (社会心理学)	社会心理学の観点から現代社会における諸問題の生起メカニズムならびに解決法について考える	吉田綾乃	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (臨床心理学)	心理面接法の理論と実践 一事例研究法を中心にー	武村尊生	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (健康心理学)	行動変容を促進する効果的な方法について考える	中村 修	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (司法・犯罪心理学)	司法・犯罪心理学の知見と臨床心理学の方法による人間理解と支援	半澤利一	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (高齢者心理学)	加齢による心理的变化、認知症のアセスメント、支援方法と支援にあたる態度と高齢者の心理学的研究方法を理解する	加藤伸司	1・2	2	SR

※1 修士論文を作成する前年度(通常1年目)に単位を修得する必要があります。
 ※2 演習科目は同じ分野の講義科目を履修し特別研究(論文作成)に結びつけます。

修了までの流れ

通信制は在宅での学修が中心になるため、学修のペースがつかみにくいものです。そのため、入学式当日に、レポートや研究の進め方、図書館の利用法等についてガイダンスを行います。

1 年目 修士論文作成の準備期間。科目の課題を中心に学修します。

1 年目は、レポートを提出するほかに、スクーリングを受講します。教員や他受講生と話すことで、自らの研究について気づきがあったり、学修に対するモチベーションを保つことができたりします。また、修士論文作成のため、各専攻の研究法を履修します（詳細は P.4）。

〈1 年目の例〉

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
入学式・ガイダンス ※出席任意 履修登録 教材配本 研究開始 ●科目のレポート作成・提出	スクーリング（一部 10～11 月） ※「演習」科目を本学で最低 1 科目 2～3 日間 ※「福祉心理学研究法特論」自宅で動画 + 本学で実技 2 日間				学位請求 論文研究 計画書提出
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
指導教員決定 ●科目のレポート作成・提出				修士論文 通信指導	

修士論文題目例

- 子への育てにくさをもつ親へのペアレントプログラムの効果検証
ー親の心理・生活にどのような変化がみられるのかー
- 介護福祉職の組織風土とセルフ・エフィカシーが職場の人間関係満足度に及ぼす影響
- 「12のステップが育む心理」とは何かーアディクションからの回復と成長を続けるあるオールドタイマーとのダイアログを通してー
- 発達障害児支援における子どもの主体性を尊重する支援態度に関連する要因ー発達障害の知識、理想の子ども像、共感性からの検討ー
- 思春期青年期精神科デイケアの発達の場についての考察



2年目

1年目での学修を活かし、修士論文を作成します。

2年目では、1年目で学修した研究法や科目の課題を活かし、修士論文の作成を中心に、教員の指導のもと各自研究を進めていきます。研究の対象などにより研究倫理審査を受ける必要があります。3回のレジュメ提出などで各自の研究について発表します（詳細はP.5）。

〈2年目以降の例〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月
履修登録		スクーリング（一部10～11月）			
教材配本		修士論文 通信指導			
修士論文 面接指導 ※1回目(1日)			修士論文 面接指導 ※2回目(1日)		
	修士論文構想 レジュメ提出 ●論文の目的・ 方法について			修士論文 第1回中間 レジュメ提出	
研究倫理審査申請					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
修士論文 面接指導 ※3回目(1日)			修士論文 提出	修士論文 口述試問 ※1日	学位記 授与式 ※出席任意
修士論文 第2回中間 レジュメ提出	修士論文 通信指導				

修了生 VOICE

東北福祉大学通信制大学院は、2002 年 4 月開設以降 382 名の修了生を輩出し、多くの方々が社会で活躍されています。

社会福祉学専攻

修了生 (2023 年度修了)

菅原夢乃さん 社会福祉士 (北海道在住・30 歳代)



福祉に対して自分なりの芯を持ちたいと考えていたこと、実践の中で日々、疑問に感じていることを解決したいという気持ちを持っていたことが大学院入学の動機です。各地から集まった多種多様な分野の同期との情報交換から視野

が広がり、卒業後も大切にしたい出会いとなりました。レポートや研究指導を通して教員との対話から得た知識、理論、考え方、視点、人間観など多くのことが今の自分の支援や生活につながっています。今後も考え、学び続けながら現場での実践に向き合っていきたいと思っています。

理論や知識を改めて学び直し、“研究する力”を学ぶ

医療ソーシャルワーカーとして実践する中で多くの疑問や課題を感じるようになり、それらを解決したいという気持ちが入学のきっかけです。私は通常の業務と育児の両立が必要であったことから通信制大学院を選択しました。大学院では現場経験だけでは培うことのできない理論や知識を改めて学び直し、“研究する力”を学ぶことができました。多くの方に支えられ修了できた経験を糧に、これからも研究を継続し、現場に還元したいです。

(宮城県在住・30 歳代・社会福祉士／女性)

福祉心理学専攻

修了生 (2023 年度修了)

大原 慎さん 保育教諭 (宮城県在住・40 歳代)



東日本大震災後、乳幼児と、側にいる大人との安定的な関係の大切さをより実感し、関係の基盤を研究したいと考えて大学院に進みました。学修や研究、指導教員からのご指導などを通して思考の整理を繰り返すことで、子どもと保育

者との関係性について曖昧に理解していたことを、徐々に明瞭にすることができました。大学院での多くの経験は、日々の保育・幼児教育の場で活かすことができます。今後も研究を継続し、現場に還元していきたいと思います。

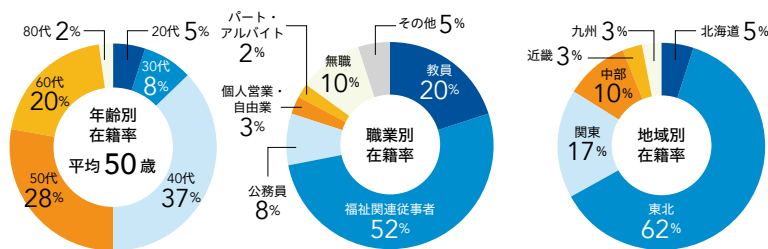
考え、学び、現場へと繋げていきたい

前職、精神保健福祉士として、支援を行う中、これまでの面接方法やアセスメント等に、本当にこれでいいのだろうか不安と疑問を持ち始め、答え合わせをしたいと思い大学院進学を決めました。レポートに取り組むことで自身の頭の整理ができ、担当教授からのコメントを通し、答え合わせを行い、自信を取り戻すことができました。更に、視野が広がったことで、法務教官に就くきっかけを得ました。知識を得ることは、自分自身のためだけではなく、少年院在院者へも伝えることができ、お互いに選択肢が増えると考えています。だからこそ、今後も考え、学び、現場へと繋げていきたいと思っています。

(埼玉県在住・30 歳代・法務教官／女性)

年齢・地域を問わず、
多領域の方が学んでいます。

修了率 **69.8%**



自分の中に新たなものの見方や 考え方ができました

教育現場では、社会全体で子供の学びを支えるために他職種連携が求められています。長年教員として勤務してきましたが、教育以外の視点を持ちたいと思い入学しました。社会福祉学を学ぶことで自分の中に新たなものの見方や考え方ができ、既存の知識や経験だけでは解決できない課題についても柔軟に考えられるようになったこと、毎日の実践に自分なりの軸ができたことは私にとって大きな財産です。

(宮城県在住・50歳代・小学校教頭／女性)

「問いを続け、学ぶこと」

「自分の援助は本当にこれでいいのだろうか？」と、自分に問い続けた結果、通信制大学院に目が向きました。無事修了しましたが、未だに実践の中で悩むことは尽きません。今に活かされていることは「問いを続け、学ぶこと」です。悩み続ける今、問いをたてなくなったら終わりだと思えるようになりました。大学院での学びで、自分の人生観や人間観まで変わりました。皆さんも是非そんな体験をしてみてください。

(宮城県在住・40歳代・社会福祉士／男性)

実践の理論化を図るために 大学院に進学しました

私は、教育分野でのソーシャルワーカーとして活動していますが、経験を重ねるほど「これで良いのだろうか」という疑問や困難さを感じるようになり、実践の理論化を図るために大学院に進学しました。日々の実践と修士論文作成という同時進行の作業は厳しいものでしたが、2年間で修了できた喜びは確実に強さと自信になっています。現在は、実践と大学の非常勤講師として次世代の育成にも関わっています。

(東京都在住・50歳代／女性)

「戸惑い」や「問いかけ」への 自分なりの解を求め進学

対人援助職として経験を重ね続ける中、いつしか、鬱積したものの重みに戸惑いを覚えるようになっていました。と同時に、なぜ鬱積するのかへの問いそのものを、自分自身に課すようになっていました。そうした「戸惑い」や「問いかけ」への自分なりの解を求め、大学院に進みました。結果、大学院での学びは、求めていた解のみではなく、自分自身の新しい生き方を力強く後押しする掛け替えのない経験となりました。

(栃木県在住・50歳代・精神保健福祉士／男性)

専門職として成長するために 「研究」を学び直したい

長い間心理職として児童発達や発達障害分野で活動しています。今後より理論的根拠に基づいた支援を行うため、また自分の実践を客観的に評価し専門職として成長するために改めて「研究」を学び直したいと思い大学院に再入学しました。私のように既に資格があり、仕事を続けながら学びたい者にとって通信制のこの専攻は最良の場でした。レポートへの取り組みを通じて既存の知識や実践を振り返ることが出来たのも非常に良かったです。

(宮城県在住・40歳代・公認心理師／女性)

総合的に考えること、いろいろな 視点から物事をみること

大学・大学院と通信教育で学び、心理学の基礎とそれを人々の生活に活かすための応用力を取得することができました。カウンセリングの仕事をするうえで、総合的に考えること、いろいろな視点から物事をみること、まとめる力、書く力、学びが様々な場面で活かされていると感じています。

(宮城県在住・40歳代／女性)

正科生 学費

入学検定料

	金 額
入学検定料	30,000 円（＊本学卒業生等 15,000 円）

※出願時に料金分の普通為替証書（郵便局で購入）を提出書類に同封。

最短の2年間で修了するための総費用 82 万円（本学卒業生等 77 万円）

	入学 1 年目	入学 2 年目
入 学 金	100,000 円（＊本学卒業生等 50,000 円）	—
授 業 料	300,000 円	300,000 円
施設設備費	50,000 円	50,000 円
厚 生 費	10,000 円	10,000 円
合 計	460,000 円（本学卒業生等 410,000 円）	360,000 円

※入学手続き期間内（2 年目以降は一定期間内）に一括納入。 ※スクーリング受講料、教科書代を含む。

＊本学卒業生等とは、以下の方をいいます。

- ①本学学部を卒業後直ちに本学大学院に進学した方 ②本学学部又は大学院を過去に卒業又は修了した方 ③本学で現に雇用されている常勤の教職員
- ④本学の関連法人（社会福祉法人東北福祉会及び医療法人社団東北福祉会）の職員であり、関連法人から、リーダー養成の一環として推薦された方
- ⑤本学学生の実習受け入れ等に協力することについて本学との間で協定を締結した施設や団体の職員であり、当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された方 ⑥現に福祉や医療等の現場で仕事に携わっており、キャリア形成のため、本学大学院の科目等履修生となり、スキルアップ講座又は履修証明プログラムに参加した方

奨学金制度について

●独立行政法人日本学生支援機構

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資として奨学金を貸与するものです。第一種（無利子）・第二種（有利子）の奨学金を受けることができます（学生の申込みに基づき選考を行い、採用の可否が決定されます）。

●本学独自の給付型（返還不要）

入学後（1 年以上在籍している方）の成績優秀者かつ経済的理由のため学資の支弁が困難な方を対象とした制度になります。

学費の分割納入について

オリコ（株式会社オリエントコーポレーション）の「学費サポートプラン」のご利用が可能です。詳しくはオリコ Web サイトにてご確認ください。

●Web：オリコ学費

検索 > オリコ学費サポートプラン > 東北福祉大学 通信課程

認定社会福祉士研修認証科目について

社団法人認定社会福祉士認証・認定機構による認定社会福祉士制度に対応して、授業科目の一部を認定社会福祉士研修認証科目（P.7 参照）として開講しています。科目認証には入学前に社会福祉士資格並びに社会福祉士としての実務経験（本学通信制大学院 HP 参照）を有することが必要です。

通信制大学院科目等履修生について

本学通信制大学院で開講の科目を 1 科目から履修が可能です。認定社会福祉士研修認証科目や、一部の公開講座等について、本学通信制大学院で修得した単位として認定します。概要については P.32 をご参照ください。

【通信教育部科目等履修生制度について】

ご入学後、本学通信教育部（4 年制大学）の科目等履修生として、大学の学修を補填することができます（入学金免除・一部提出書類免除）。例えば研究の基礎となる「社会調査の基礎」や「心理学概論 A」「心理学研究法 A」など、多くの科目でオンデマンド・スクーリングの受講が可能です。

よくあるご質問

Q 福祉または心理系の大学卒でなくとも
出願可能ですか？

A 出願可能です。例えば法学部卒で社会福祉学
専攻に入学のケースがあります（福祉心理学
専攻でも同様）。

Q 教科書代・スクーリング受講料は別に
必要ですか？

A 各科目の教科書代金・スクーリング受講料は、
学費の中に含まれています。

Q 修了までに、来校は何回必要ですか？

A **社会福祉学専攻**

- 全ての科目でスクーリング（オンデマンドと対面の混合型）があり、多くの科目で会場での授業が1日あります。ですが、科目によっては、対面授業は全てリモートで受講が可能な科目、会場での受講が2日間の科目がありますので、選ぶ科目によって来校の回数は異なります。
- 「研究指導（論文指導）」科目は、1年生で3回、2年生で4回対面授業が必須ですが、リモートでの受講が可能です。

福祉心理学専攻

- 5回を基本として受講する科目数やスクーリングの開講形態および面接指導等のリモート数により変動します。例として下記をご参照ください。
1年目：研究法の科目2日間（1回）、演習科目2～3日間（連続の場合1回）
2年目：面接指導（リモート2回・対面2回の場合）2日間（2回）、口述試問1日（1回）

Q JRを利用する場合、学割は利用できますか？

A 通信制大学院の学生に対する学割証（乗車区間が片道100kmを超えるJR線を利用する場合に、乗車券を2割引で購入できる割引証）は、スクーリング・面接指導・口述試問等学校行事に参加する場合に発行できます。

2025年度 正科生 募集要項

募集する専攻および入学定員・募集人員

専攻	入学定員	募集人員	修了年限
社会福祉学専攻	10名	I期 若干名 II期 若干名 } 計10名	2年
福祉心理学専攻	10名	I期 若干名 II期 若干名 } 計10名	2年

出願資格

- (1) 大学を卒業した方、または2025年3月卒業見込みの方。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方、または2025年3月学士の学位を授与される見込みの方。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方、または2025年3月までに修了見込みの方。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方、または2025年3月までに修了見込みの方。
- (5) わが国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方、または2025年3月修了見込みの方。
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方。
- (7) 文部科学大臣の指定した方。(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた方。
- (9) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学時22歳に達する方。

【注1】外国の国籍を有する者は、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験し、「日本語」の成績が200点以上であるか、もしくは日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し、N2(旧2級)以上に合格している必要があります。

【注2】出願資格(8)(9)によって出願する場合は出願資格審査を行いますので、I期出願希望者は2024年10月18日まで、II期出願希望者は2025年1月10日までに通信制大学院事務室へご連絡先明記のうえ書面(Eメール可)で照会してください。

出願から入学までの流れ

出願書類の作成

P.20～21を参考に出願書類をご準備ください。

入学検定料の準備

(郵便局で「普通為替証書」購入)

入学検定料は「普通為替証書」を郵便局で購入し、出願書類に同封してください。

	金 額
入学検定料	30,000円(*本学卒業生等15,000円)

*本学卒業生等の方については、P.16をご参照ください。

出願書類の提出

下記の出願期間内に書留で郵送してください(同封の本学指定封筒をお使いください)。

(出願先)〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26-3階

東北福祉大学 通信制大学院事務室 TEL. 022-292-8011

	出 願 期 間
I 期	2024年10月28日(月)～11月28日(木) 必着
II 期	2025年 1月20日(月)～ 2月19日(水) 必着

受験票到着

出願書類受付・確認後、受験票を発送いたします。

入学試験受験

筆記試験および面接試験は、下記の日程で行います。選抜方法や入学試験については、P.21をご参照ください。

	受 験 日 時
I 期	2024年12月 7日(土) 午前10時より(午前9時45分集合)
II 期	2025年 3月 1日(土) 午前10時より(午前9時45分集合)

合格通知書・
学費納入依頼書
到着

本人宛の可否通知書を送付します。掲示による発表は行いません。合格の場合、「誓約書・在学保証書」を同封します。別便で学費の納入依頼書をお送りします(郵便局払い)。

	合 格 発 表
I 期	2024年12月17日(火)
II 期	2025年 3月11日(火)

※ 合格者発表に関する電話等での問い合わせには一切応じられません。

入学手続き

合格した方は、①学費納入、②「誓約書・在学保証書」提出をしてください。
下記の期間内に手続きが完了しない場合は、入学を辞退したものとします。

	入 学 手 続 期 間
I 期	2024年12月17日(火)～2025年1月16日(木)
II 期	2025年 3月11日(火)～2025年3月25日(火)

【学費納入後の入学辞退について】

通信制大学院事務室に電話で連絡した後、下記の(1)を行ってください。

- (1) 入学辞退の申し出(受験番号・氏名・辞退理由を2025年3月31日までに当事務室にメールで申し出)。
- (2) (1) 申し出後、当事務室から入学辞退および返金手続きに必要な書類を送付。
- (3) (2) の必要書類を記入し、2025年4月15日までに郵送で提出。
- (4) 必要書類が到着した後、入学金および振込手数料を除いた諸納金を返還。
- (5) 2025年4月15日まで辞退届がない場合は、一切返金いたしません。

①学費納入、②「誓約書・在学保証書」提出を確認次第、入学許可通知書をお送りします。

入学許可書到着

入 学

入学日は、4月上旬に行う入学式の挙行日になります。

入学式では、オリエンテーションやガイダンスを行います(出席任意)。

出願書類一覧

	必要書類	留 意 事 項
1	入学志願書[A]	(1) 指定用紙（本冊子巻末）を使用してください。※用紙は HP からダウンロード可能。 (2) 黒インクまたは黒ボールペンを使用し、自筆で記入してください。 (3) 氏名・生年月日は、住民票または外国人登録済証明書の記載どおりに記入してください (入学後も通称名を使用する場合は外国人登録済証明書の通称名を記入)。 ※志望専攻の変更は認められません。 ※職歴が書ききれない場合は別紙を用いてご提出ください。
2	入学志願書[B]	入学志願書[A]の裏面になります。※用紙は HP からダウンロード可能。
3	普通為替証書 入学検定料 30,000 円 (＊本学卒業生等 15,000 円)	入学検定料分の普通為替証書を郵便局で購入し、出願書類に同封してください。 ※現金でのお支払いは受付けておりません。 ＊本学卒業生等の方については、P.16をご参照ください。
4	(本学卒業生等の方) 当該施設等からリーダー 養成の一環として推薦さ れた証明となる「推薦書」	P.16 に記載の本学卒業生等のうち、④⑤の当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された方に該当する場合は、その証明となる「推薦書（要公印）」（様式任意）を提出してください。
5	写真 3 枚 (撮影 3 ヶ月以内)	(1) 入学志願書[A]に 1 枚貼付してください。他 2 枚は同封してください。 (2) 裏面に氏名を記入したうえで、貼付してください。
6	卒業（見込）証明書	出身大学発行で厳封したもの。※本学（通学・通信）の卒業生も同封。
7	成績証明書	出身大学発行で厳封したもの。※本学（通学・通信）の卒業生も同封。
8	①外国人登録済証明書 ②日本語能力を証明する書類	外国籍の場合に、①②両方提出してください。 ②は、日本学生支援機構が実施する日本留学試験の、「日本語」の成績が 200 点以上である事を証明する書類、もしくは、日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験において、N2（旧 2 級）以上に合格していることが証明できる書類を提出してください。
9	卒業論文の写し	作成していない場合や準備できない場合は提出不要。
10	志望理由書	(1) 日本語 2,000 字程度で、①志望動機②志望する専攻とその理由③入学後の目標と抱負等をご記入ください。手書き、パソコン印字どちらでも可。 (2) 手書きの場合は、本冊子巻末の指定用紙を使用してください。※用紙は HP からダウンロード可能。 (3) パソコン印字の場合は、用紙は A4 判、横書き、1 ページの印字は 1 行 40 字×40 行、字文字サイズ 10.5 ポイント、余白は上・下・左・右とも 30mm で設定してください。また、本冊子巻末の指定用紙を参考に、冒頭に志望する専攻・氏名を記入してください。
11	研究計画書	(1) 日本語 2,000 字程度で、以下①～③を基本に社会人の立場を生かしてまとめてください。手書き、パソコン印字どちらでも可。 ①研究テーマ：研究テーマとして何をとりあげるか、どのような点を問題にしたいのか。 ②研究の目的：研究の意義・目的は、どのような点にあるか、どのような点に研究の独自性があるか。 ③研究の構想・計画：2 年間で研究をどのような方法・手順で進めていくか、どこまで明らかにするのか。 (2) 手書きの場合、本冊子巻末の指定用紙を使用してください。※用紙は HP からダウンロード可能。 (3) パソコン印字の場合は、用紙は A4 判、横書き、1 ページの印字は 1 行 40 字×40 行、字文字サイズ 10.5 ポイント、余白は上・下・左・右とも 30mm で設定してください。また、本冊子巻末の指定用紙を参考に、冒頭に志望する専攻・氏名を記入してください。
12	社会福祉士の登録証 (コピー)	認定社会福祉士研修科目として単位修得をめざす方は、社会福祉士の登録証（コピー）を提出してください。
13	戸籍抄本	証明書が旧姓で発行される場合に提出してください。
14	障がい（疾病）にともなう受験（修学）配慮希望申請書	(1) 受験者ご自身の疾病や障がいによる配慮を希望する場合に提出してください。 (2) 指定用紙（本冊子巻末）を使用してください。※用紙は HP からダウンロード可能。 (3) 「受験時」および「入学後」それぞれについて、配慮を必要とする事項を記入して提出してください。 (4) 疾病や障がいの状況を確認できる資料のコピーを添付してください。 例：障がい者手帳、診断書等。

※証明書は、いずれも原則発行後 6 カ月以内のものを提出してください。

※受理した書類の返却および入学検定料の返金はいたしません。

※各種用紙のダウンロードは、本学通信教育部 HP（<https://www.tfu.ac.jp/tushin>）の「通信制大学院」から入り、「2025 年度募集要項出願書類用紙」を選択してください。

出願上の注意事項

- (1) 二重学籍は、認めておりません。
- (2) 国外に在住している方へ：送付物は日本国内の住所にお送りいたしますので、書面（様式自由）で日本国内のあて先住所をお知らせください（入学後も同様）。
- (3) ご入学後研究倫理 e ラーニングコース（日本学術振興会）やオンライン授業があるため、パソコンをお持ちで、ご自身で操作ができる必要があります。またインターネットの環境も必要です。
- (4) インターネットを利用した動画配信型および同時双方向型（リモート）のオンライン授業があります。下記 パソコンやインターネットの推奨環境 をご確認ください。

パソコンやインターネットの推奨環境

入学後の学修にあたり、パソコンの所持およびインターネット環境を有しており、基本的な操作ができる必要があります。
※基本的なパソコン操作に関するサポートは致しかねますのであらかじめご了承ください。

推奨環境		対応ブラウザ	注意事項
OS	Windows10	Microsoft Edge / Google Chrome / Firefox	
	Windows11		
	MacOS	Google Chrome	動作保証できませんが、利用可能。ただし、動作確認は各自で行ってください。 ※ Safari では稀に動画が正常に再生されない場合がございます。
	Chromebook など、上記 OS 以外のパソコンについては動作対象外となります。		
ハードウェア		・CPU、メモリ、ハードディスク：上記 OS、対応ブラウザの必要スペック ・画面解像度：1024×768 ドット以上 ・その他：音声出力	
ソフトウェア		・Microsoft Word ・Adobe Acrobat Reader	※最新版を推奨
インターネット環境		・回線速度：2Mbps 以上（5Mbps 以上の回線を推奨） ・有線 LAN を推奨（光回線または ADSL 回線を推奨） ※無線回線（モバイル通信、Wi-Fi 等）は通信が不安定になり、通信切断が起こる可能性があります。 ※モバイル通信回線の場合、データ通信制限に伴う通信速度の低下に注意してください。詳細は契約している回線業者にお問い合わせください。 ※インターネット回線利用のため、100%の動作保証はできません。	

※一部の科目では Web カメラ・マイクをご用意いただく場合があります。

上記は 2024 年 6 月時点の情報です。推奨環境の変更があった場合は、通信教育部・通信制大学院 HP 等でご案内します。



選抜方法

筆記試験（各専門科目、英語の出題はありません）、面接試験、出願書類（研究計画書等）を総合して行います。
筆記試験の過去問題は、P.23 をご参照ください。

入学試験

試験会場

東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス（〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26）

※地図は裏表紙を参照。

※詳細は、当日のキャンパス内掲示でご案内します。

試験日時・時間割

I 期 2024年12月 7日(土) 午前10時より(午前9時30分より入室、午前9時45分集合)

II 期 2025年 3月 1日(土) 午前10時より(午前9時30分より入室、午前9時45分集合)

時 間	内 容		
午前9時45分～	入室完了・説明		
午前10時～11時30分	筆記試験	社会福祉学専攻	社会福祉学関連科目
		福祉心理学専攻	心理学関連科目
午後12時30分～	面接試験(面接官2名:受験生1名) ※受験番号順に一人当たり20～30分程度		

受験上の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、通信制大学院事務室または試験会場入室時に係員に申し出てください。
- (2) やむを得ない事情による遅刻は、集合時間（午前9時45分）後20分までは受験を認めますが、試験時間の延長はできません。
- (3) その他、試験会場では試験監督者の指示に従ってください。
- (4) 受験者用の駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

入学試験 過去問題

社会福祉学専攻

2024年度の試験問題になります。必修問題1問と、選択問題（3問中2問選択解答）が出題されました。

【必修問題】

解答は、300字以上700字以内で答えなさい。

I期

社会福祉における権利擁護（アドボカシー）の特徴について述べなさい。

II期

今日の社会保障政策の基本理念にすえられている「ナショナルミニマム」について説明しなさい。

【選択問題】

解答は、300字以上700字以内で答えなさい。

I期

- (1) 地域包括ケアシステムにおける生活支援・介護予防の役割について説明しなさい。
- (2) ソーシャルワーク実践における「ライフモデル」について、その理論的背景とモデルの特徴を述べるとともに、今日のソーシャルワーク実践への適用とその意義を述べなさい。
- (3) 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（令和5年法律第68号）が令和5年6月22日に成立した。この法律は理念法として、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性を受け入れる精神の涵養や寛容な社会の実現を旨とされているが、このような社会を創るためには、ソーシャルワーカーとしてどこに、どのような働きかけが必要か。あなたの考えを述べなさい。

II期

- (1) 地域共生社会における地域づくりの意義を説明しなさい。
- (2) ケアマネジメントについて、その理論的背景を踏まえて、今日のソーシャルワーク実践における意義を述べなさい。
- (3) 制度の狭間や分野横断的な課題を包含した課題として、「ヤングケアラー」がある。ヤングケアラーの現状を述べた上で、その課題解決のためにはどのような対応が望まれるか、あなたの考えを述べなさい。

福祉心理学専攻

2024年度の試験問題になります。3問中2問選択し解答する選択式で出題されました。

I期

- (1) 「児童虐待」が児童に及ぼす影響として、大きく「身体的影響」「知的発達面への影響」「心理的影響」の3点があげられる。それぞれの問題を具体的に説明しなさい。
- (2) 小学校1年生の子どもを持つ親から、「子どもにサッカーを習わせたいが、本人が全く興味をもっていない。どうしたらサッカーを習いに行かせることができるだろうか」という主訴の相談を受けた。心理学の理論と絡めながら、相談者である親に対する支援計画を立ててください。
- (3) 現在、様々な場所で「自己肯定感を高めるには…」ということばを目にする。そこで、
 - ①あなたが考える「自己肯定感が高い」ということはどういうことかを記述してください。
 - ②あなたが考えた「自己肯定感が高いということ」に沿って、研究協力者（被験者）の自己肯定感の高さを具体的に測定するための手法（測定方法）を考えて記述してください。
 - ③あなたが考えた測定方法により得られた「自己肯定感の高さ」を「従属変数」とした場合、どのような独立変数と組み合わせた研究計画が考えられるか、仮説とともに記述してください。また、その仮説が検証された場合、人々のウェルビーイングのためにどのような提案ができそうかを記述してください。

II期

- (1) 現在、子どもに対する教育・保育において、計算力や語学力といった学力テストなどで測ることができる能力ではない「非認知能力」の重要性が指摘されている。「非認知能力」について説明しなさい。また、「非認知能力」を育てる上で大切な事柄についてあなたの考えを述べなさい。
- (2) 小学生の「道徳性」が、他のどのような心理的な特徴と関連しているのかを検討したい。そこで、以下の視点から研究計画をたてなさい。
 - ・あなたが考える道徳性とはどのようなものかを明確にしなさい。道徳性をどのように心理学的に測定するかについて記述してください。
 - ・道徳性の高さと関連していると思われる心理学的な要因を1つ考えて仮説を立ててください（ただし、気質などの生得的な要因は除く）。
 - ・その上で、独立変数、従属変数を明らかにしながら、その仮説を検証するための研究計画をたててください。
 - ・さらに、その仮説が検証された場合に、実学的にどのような応用の可能性があるかを論じてください。
- (3) 子どもが三歳くらいまでは母親は子育てに専念すべきであるという「三歳児神話」に対する賛否にも言及しながら、人間の親子関係における愛着の形成の特徴について論じてください。

3つのポリシー（専攻別）

社会福祉学専攻

教育研究上の目的

本専攻は、本学の建学の精神である「行学一如」を基盤とし、「自利・利他円満」を教育の理念として、社会科学と人間科学などに関する学術の理論とその応用を研究する方法を教授し、共生社会の実現と人類の福祉に寄与しうる人材を養成することを目的としています。

教育目標

社会福祉とその実践に関する科学的視点と高度な専門性を有する実践的研究者、または研究的実践家の養成を目的としています。

ディプロマ・ポリシー（学位の授与に関する方針）

1. 学生が身につけるべき資質・能力の目標

本専攻の修了生は、社会福祉実践の向上に寄与するために、社会福祉実践と社会福祉理論を科学的に追求し、また近接する領域との連携や協働のあり方を科学的に追求する能力を持った実践家および実践的研究者として、以下の能力を身につけている。

- (1) 社会福祉学全般の基礎的素養と社会福祉実践に関する専門的知識・技法、倫理。
- (2) 社会福祉学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識を用いて社会福祉学研究法を用いて、研究倫理を踏まえながら、実践的な研究、研究的な実践をおこなう力。
- (3) 社会情勢の変化や、現代社会からの要請に対して、多次元に渡る広い視点を持って対応する力。
- (4) 社会福祉学の価値、知識、技術を基盤に、社会福祉学研究と社会福祉実践を統合する力。
- (5) 近接する領域との連携や協働のあり方を科学的に追求する能力を持った実践的研究者および研究的実践家としての能力。

2. 学位授与の要件

修士課程の所定の科目を履修し、研究指導を受けたうえで、社会福祉に関連する学問分野の諸問題を解決するための研究力や実践力を修得したと評価するに値する成果（修士論文）を提出し、最終試験に合格した者に修士（社会福祉学）の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成および実施の方針）

1. 教育課程編成の方針

共生社会の実現と人類の福祉へ貢献する人材の養成という本研究科の教育研究上の目的の下、現代社会の福祉的課題、および実践的課題を科学的に分析し、それらを解決する能力を身につけるために教育課程を編成しています。

2. 教育課程の構成

- (1) 実学としての社会福祉学理論、実践理論を認識するための科目を設置する。
- (2) 社会問題と人々の生活ニーズの解決に必要な近接領域との連携、協働を考えるための科目を設置する。
- (3) それらを実践するために必要な研究方法に関する科目を設置する。
- (4) 修士論文作成のために指導教員を定めて研究指導を行い、研究構想発表、中間報告などでは、様々な領域の教員によるコメントを交え、修士論文作成に至るまで複数の教員がかかわる指導を展開する。

3. 学修方法・学修過程

社会福祉の理論、制度・政策、実践についての知識の修得を基礎に、応用領域では、現代社会の福祉問題の解決に取り組める研究および実践的な力量の修得を目指し、以下のような学修方法、過程を実施します。また、法令により認められた「印刷教材による授業」を取り入れ、主として社会人である学生が学修しやすい環境を整えています。

(1) 印刷教材、および一部動画配信によるオンデマンド教材による授業

教科書、参考文献、および一部動画配信によるオンデマンド教材と、「在宅学習のポイント」に基づいて進める学修方法です。学んだ成果を確認するために、定められた課題についてのレポートを提出します。レポートは担当教員により添削指導が行われ、自身の理解の度合いを把握し、さらなる研究につなげることが可能です。

(2) 面接授業（スクーリング）

演習科目では教員と直接対面して授業を受ける面接授業（通学対面のほか、オンラインによる同時双方向授業を含みます）が必須となります。また講義科目でも可能なかぎり週末や長期休暇期間中等の集中講義によって、面接授業を位置づけます。学生間、学生と教員間でディスカッションをし、課題の理解や課題解決力を深めていきます。

(3) 研究指導・修士論文指導

実証的、論理的な研究を進め、質の高い修士論文を完成するため、学生1名につき指導教員を定め、テーマの選定や実証方法・分析方法の選択、論文構成や内容などに関して、綿密な指導を行います。修士論文執筆の過程では、面接指導、通信指導それぞれについて必須条件を定めています。計画的に論文作成を進めるため、中間レジュメの作成や報告会などを設けています。

(4) 研究倫理教育

レポート、修士論文作成における著作権の保護や、調査研究における個人情報の保護、調査を拒否できる権利があることなど、研究協力者に理解しやすく説明できるインフォームド・コンセント能力を高めるよう指導しています。「研究倫理eラーニングコース」（日本学術振興会）などにより、研究倫理の基本を学修します。

4. 学修成果の評価のあり方

教員と学生自身によって評価します。教員による評価では、受け身の学修でなく、自らレポート課題、研究課題を設定し、主体的に課題解決に取り組むことを求めています。課題選択のレベル、成果までの過程の分析や結果について、合理的、実証的にまとめているかを評価しています。

学生による評価は、レポート添削による指導内容、演習等でのフィードバック、科目の総合評価から学びの過程を振り返り、学位授与の方針の達成度を自身で確認します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

すべての人がよりよく生きること（Well-being）を可能にする共生社会の実現に寄与したいという熱意を持ち、社会福祉学の知識・実践技術を高めるために研究する力、実践する力を身につけたいという、以下のような方の入学を希望します。

1. 求める学生像

主たる対象を社会人として、通信教育の学修方法を理解し、下記に合致した方の入学を期待しています。

(1) 実学の視点をもった社会福祉実践向上への目的意識

現代の社会福祉の事象に関心を持ち、その問題を科学的に解決し、社会福祉実践の質を高めようとするに高い目的意識を持つ方。

(2) 実学研究を遂行する能力

実践と一体を成す実学研究をおこなうための、社会福祉学とその近接領域の学問に関する基礎知識と総合的な学力を有する方。

(3) 学際的な視点

社会福祉実践に必要な近接する学問領域との連携をおこなうための広い視野と柔軟かつ論理的な思考をもつ方。

(4) 自己研鑽

実学研究をとおして、自らの専門性を向上させようとし、生涯にわたる自己研鑽を求める方。

(5) 国際的視点

世界の社会福祉的な事象に関心を持ち、その課題の分析、解決に取り組もうとする方。

2. 入学前に培うことを求める力

- (1) 社会福祉学専攻の研究と実践を進めるために必要な知識・技法と倫理観。
- (2) 合理的、論理的思考力、判断力そして表現力。
- (3) 人間関係において主体性を持ちながら他者を尊重し、共感性を持って接し、協働できる力。

3. 評価の方法

「求める学生像」に適い、「入学前に培うことを求める力」を備えている人材かどうかを判断するため、志望理由書と研究計画書等の出願書類の提出を求め、次の評価の方法を用います。

- (1) 出願書類、筆記試験、口述試験等により、総合的に評価します。
- (2) 特別な支援を必要とする者については、すべての入試について「受験（修学）配慮希望申請書」の提出により入試に支障なく取り組むことができるように、配慮を行います。

福祉心理学専攻

教育研究上の目的

本専攻は、福祉心理学を基礎として、心理学に関する基礎的な素養を身につけ、広義の社会福祉に寄与する人材養成、すなわち人間が社会生活を営む中で直面する諸課題に対して科学的に追求しその解決に取り組むことができるよう援助する人材の育成を目指しています。修了後は、発達領域、教育領域、司法領域、産業領域での福祉に寄与する高度の専門家となることを目標としています。

教育目標

本専攻は、本学の建学の精神である「行学一如」を基盤とし、心理学に関する高度な知識と技術を学び、個人から社会の広義の福祉に幅広い心理学的知見を持ち、心理的援助・実践ができる人材養成を目標としています。

ディプロマ・ポリシー（学位の授与に関する方針）

1. 学生が身につけるべき資質・能力の目標

- (1) 応用心理学全般の基礎的素養と発達心理学および臨床心理学に関する専門的知識・技法、倫理を修得している。
- (2) 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、研究倫理を踏まえながら、心理学研究方法の方法を使い研究をすることができる。
- (3) 社会や各種職域の変化や要請に対して福祉・心理・社会の多次元に渡る広い視点を持って対応することができる。

- (4) 心理学の専門的知識、心理学的実践活動、そして心理学研究の3領域を互換的に総合することができる。
- (5) こころの健康の援助、家族関係の援助、社会福祉の援助、発達援助、地域活動の援助、災害・被害への援助、心理的・社会的適応の支援などを実践できる。

2. 学位授与の要件

修士課程の所定の科目を履修し、研究指導を受けたうえで、心理学に関連する学問分野の諸問題を解決するための研究力や実践力を修得したと評価するに値する成果（修士論文）を提出し、最終試験に合格した者に修士（福祉心理学）の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成および実施の方針）

1. 教育課程の編成

現代社会が複雑化していく中で、個人が自由に円滑な日常生活を送ることが難しくなっており、社会・労働組織もストレスフルな状況に陥る傾向にあります。このような現実、福祉心理学を基礎として個人および社会の広義の福祉を実現するため福祉心理学的知見を活用し、こころの健康の回復、維持、促進する専門家を養成すべく、人間が置かれている心理的状况や環境に応じて、心理学的アプローチを図る力を身につけるための科目編成をしています。

2. 学修方法・学修過程

法令により認められた「印刷教材による授業」を取り入れ、主として社会人である学生が学修しやすい環境を整えています。

(1) 印刷教材による授業

科目により指定された教科書を配本し、それを『科目別ガイドブック』に記載された「在宅学習のポイント」に基づいて読んでいく学修方法です。参考文献での学びも推奨されます。学んだ成果を確認するために、『科目別ガイドブック』に記載された課題についてのレポートを提出することが必要です。レポート作成の過程を通じて、深い専門性、思考力や根拠に基づく情報発信力を身に付けることができます。レポートは担当教員により添削指導が行われ学生に返却されますので、自身の理解の度合いを把握し、さらなる研究につなげることが可能です。

(2) 面接授業（スクーリング）

演習科目では教員と直接対面して授業を受ける面接授業が必須となります。学生間、学生と教員間でディスカッションをし、課題の理解を深めていきます。研究法について学ぶ講義科目でも面接授業が必須となります。大学院レベルで求められる心理学の研究手法の技能を修得します。

(3) 研究指導・修士論文指導

実証的、論理的な研究を進め、質の高い修士論文を完成するため、学生1名につき指導教員を定め、テーマの選定や実証方法・分析方法の選択、論文構成や内容などに関して、綿密な指導を行います。修士論文執筆の過程では、最低限面接指導3回以上、通信指導2回以上を必須としています。進捗状況を確認するための「中間レジュメ」は、学生同士で共有され、相互に刺激を受けることを可能にしています。

(4) 研究倫理教育

レポート、修士論文作成に関して、守秘義務や個人情報の保護などの重要性を指導しています。また、引用文献・参考文献の明示を行い、剽窃のないように作成することを指導しています。調査に関しては、個人情報の保護、個人を特定できないこと、調査を拒否できる権利があることなどを研究協力者に理解しやすく、説明できるインフォームド・コンセント能力を高めるように指導しています。「研究倫理eラーニングコース」（日本学術振興会）などにより研究倫理の基本を学修します。

3. 学修成果の評価のあり方

教員と学生自身によって評価します。教員による評価では、受け身の学修でなく、自らレポート課題、研究課題を設定し、主体的に課題解決に取り組むことを求めています。課題選択のレベル、成果までの過程の分析や結果について、合理的、実証的にまとめているかを評価しています。

学生による評価は、レポート添削による指導内容、在宅レポート試験の評価、科目の総合評価から学びの過程を振り返り、学位授与の方針の達成度を自身で確認します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 求める学生像

- (1) 一人ひとりの人権や尊厳を重んずる人間理解を基に福祉心理学専攻の専門領域に強い関心を持ち、これらの領域において研究、実践を行う明確な意志を持っている方。
- (2) 心理学の専門的知識・技法を偏りなく幅広く修得する意欲のある方。
- (3) 合理的、論理的な思考力、判断力、表現力などの能力のある方。
- (4) 主体性を持ちながら多様な人々と協働して研究と実践ができる方。なお、主たる対象を社会人として通信教育の学修方法を理解し、上記に合致した方の入学を期待しています。

2. 入学前に培うことを求める力

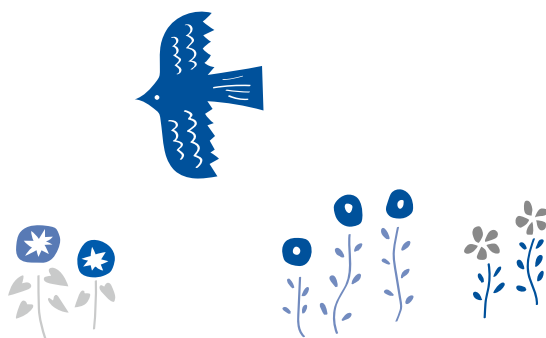
- (1) 福祉心理学専攻の研究と実践を進めるために必要な知識・技法と倫理観。
- (2) 合理的、論理的思考力、判断力そして表現力。
- (3) 人間関係において主体性を持ちながら他者を尊重し、共感性を持って接し、協働できる力。

3. 評価の方法

- (1) 上記の人材を選抜するために、入学試験を実施します。志望理由書と研究計画書などの書類の提出を求め、上記 2. の項目（1）～（2）を評価します。専門科目についての筆記試験を行い、上記 2. の項目（1）を評価します。口述試験を行い、上記 2. の項目（3）を評価します。
- (2) 特別な支援を必要とする方については、「受験（修学）配慮希望申請書」の提出により入試に支障なく取り組むことができるように配慮します。

4. 入学前に学習することを期待される内容

- (1) 心理学に関するそれぞれの研究対象領域の基礎的知識と今後の研究を進めていく上で必要な心理学研究法、心理学統計法を学修しておくことを期待します。
- (2) 学際的な知識の修得のために必要な基礎的英語能力を学修しておくことを期待します。



「研究指導」「研究演習」「特別研究」授業概要

(予定)

下記の科目は、修士論文作成のための科目になります。研究に関する科目以外の授業概要（2024年度）は、東北福祉大学通信教育部・通信制大学院 HP（<https://www.tfu.ac.jp/tushin>）でご覧いただけます。「通信制大学院」をクリックし「科目別ガイドブック」を選択してください。

※社会福祉学専攻希望の方で、修士論文作成にあたり、入学前の研究室訪問（オンライン）をご希望される場合は、通信制大学院事務局宛てにメール（tsukyo@tfu.ac.jp 宛て）でお問い合わせください。

- ・教員の都合により対応できない場合があります。
- ・研究室訪問と実際の修士論文指導教員は直接繋がるものではないことをご了承のうえお申し込みください（入学後の調整にて決定するため）。

社会福祉学専攻

社会福祉学研究演習Ⅰ ※演習担当教員は、本冊子 P.6 社会福祉学専攻「主な担当教員」を参照。

自身の修士論文デザイン（研究計画書）の作成や、ゼミ内での議論などから、修士論文研究の基礎を身につける

- ・「修士論文研究計画法概論」受講後、専門分野の指導教員から論文のデザインについて学ぶ。
- ・指導教員の指導により、また、報告や他の受講生との討論を通じ、修士論文研究を進めていく。
- ・「論文指導」と連動し、参加した中間報告会や学位請求論文構想発表会などでの議論の要点を確認し、自らの研究に反映させる。

社会福祉学研究演習Ⅱ ※演習担当教員は、本冊子 P.6 社会福祉学専攻「主な担当教員」を参照。

自身の修士論文の作成プロセスを報告し、ゼミ内での議論、指導教員からの指導を受けて、修士論文研究を進める。

- ・指導教員の指導により、また、報告や他の受講生との討論を通じ、修士論文研究を進めていく。
- ・「論文指導」と連動し、参加した中間報告会や第2回中間報告会での議論の要点を確認し、自らの研究に反映させる。

研究指導（論文指導）

修士論文の発表について、資料のまとめ方、プレゼンテーションの行い方を学び、社会福祉の実践研究者、研究的実践家としての資質を高める。

担当教員の指導を受け、学位請求論文構想発表会における修士論文研究計画、学位請求論文中間報告会における作成状況報告、最終報告会における報告資料などの作成、発表を行う。

また、学位請求論文中間報告会、学位請求論文最終報告会に出席して、他の修士論文の報告を聞き、論文の作成、報告の方法を学ぶ。

福祉心理学専攻

福祉心理学特別研究（発達心理学） 平川昌宏先生

現在の社会的状況や発達心理学のこれまでの知見をふまえ人々の発達やその支援に関する研究課題を設定し、心理学研究法を用いてその研究課題について検討を行う。さらに検討結果について、心理学的実践活動という観点から考察を行う。

これまでの学びや経験を通して各自が持っている発達やその支援に関する興味・関心を心理学の俎上に乗せ、その方法論に則って深めていく。教員の助言を受けながら、テーマを決め、文献を調べ、仮説を立て、調査を計画・実施し、結果を分析し、論文を作成する。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（発達心理学）、心理的な支援と応用演習（発達心理学）

福祉心理学特別研究（学校・教育心理学） 中村恵子先生

福祉心理学（特に学校・教育心理学）に関する研究課題を設定し、目的に即した研究方法を選択して論文を作成する。

手法としての研究を学び、自ら設定した問いに対する回答を導き、研究過程では、論理性、客観性、再現性および要素性の観点から検討を加え、心理学的な研究とは何かを学んでいく。

一連の研究過程を通して、論理性と客観性を身につけることを目的とする。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（学校・教育心理学）、心理的な支援と応用演習（学校・教育心理学）

福祉心理学特別研究（社会心理学） 吉田綾乃先生

社会心理学の基礎・応用知識および社会心理学の研究手法に関する知識を修得することを目的とする。

広く社会心理学に関連するテーマを各自が設定し、そのテーマに沿って実験あるいは調査研究を行う。研究の実践を通して、社会心理学の基礎・応用知識を習得することを目指す。また、個人的・社会的な問題に対して社会心理学の研究手法法を用いて検討するスキルを身につけることを目指す。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（社会心理学）、心理的な支援と応用演習（社会心理学）

福祉心理学特別研究（臨床心理学） 武村尊生先生

福祉心理学のうち、特に臨床心理学の分野における課題を見つけ出し、研究目的に合った手法を活用して研究を行い、論文を作成する。

福祉心理学の論文の特徴を理解できるようになることを目標とする。論文の構成、変数の取り扱い方、統計的分析手法が適切に選択できるように学習を進め、調査のための実施計画を立案し、実際に調査を行い結果の分析と考察を行う。論文の完成がゴールではなく、これら研究から得られた知見を、心理学的支援の場面で応用し、社会に貢献することが重要である。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（臨床心理学）、心理的な支援と応用演習（臨床心理学）

福祉心理学特別研究（健康心理学） 中村 修先生

健康心理学に関する研究課題を自ら設定し、心理学研究法を用いて研究を行い、論文にまとめる。

これまで学んできたことを用いて、研究を行えるようになることを目的とする。自らの疑問を仮説検証型の研究スタイルにのっとった形に特定化し、それに見合った方法を選んでいくことが求められる。頭の中にある考えを形にする、形にしたものを実行する、実行したものをまとめて次の課題へとつながる、といったことは研究に限ったことではないが、「心理学」「研究」という縛りのある中で主体的に取り組んでいく。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（健康心理学）、心理的な支援と応用演習（健康心理学）

福祉心理学特別研究（司法・犯罪心理学） 半澤利一先生

福祉心理学のうち、特に司法・犯罪心理学やその関連領域において研究課題を見つけ出し、その目的に適った方法を通して研究し、論文を作成する。

これまでに積み重ねてきたさまざまな心理学的な知見や方法を踏まえ、新たに見出したテーマや自分で確認したい課題について検討し、研究の目的や変数を絞り込む。その上でさまざまな文献を調べて研究計画を立てて仮説を設定し、調査して結果の分析と考察を行っていく。これら一連の活動を通して思考が深まり、人々に何らかの知見をもたらす研究成果を作り上げていくことを目的とする。

【事前に受講してほしい科目】心理的な理論と支援（司法・犯罪心理学）、心理的な支援と応用演習（司法・犯罪心理学）

福祉心理学特別研究（高齢者心理学） 加藤伸司先生

高齢期にみられる心理学的課題や認知症に関連した様々な心理学的課題、社会福祉学的課題を抽出し、研究の視点でまとめていくことを目的とする。

高齢者心理、高齢者福祉、認知症に関するテーマに関する研究指導を行う。テーマ選定については、担当教員のアドバイスを受け、目的、方法論を明確に定めていく。実際の研究にあたっては、担当教員とのディスカッションを繰り返しながら論文をまとめていく。

【事前に受講してほしい科目】心理的な理論と支援（高齢者心理学）、心理的な支援と応用演習（高齢者心理学）



2025 年度 科目等履修生 募集要項

通信制大学院科目等履修生とは

科目等履修生に向けて開講されている科目の中で、受講したい科目を1科目から履修することが可能です。履修科目の単位修得にて修了となります。

※ 科目等履修生となり単位を修得した科目については、のちに本学大学院（通学・通信）の社会福祉学専攻修士課程に正科生としてご入学された場合には、15単位を上限に単位認定をいたします。ただし、カリキュラム改正等により認定不可となる場合がございます。将来、正科生としての入学をめざされる方は、この単位認定により課程を修了するために必要な単位修得に割く在学中の学修時間を軽減できる、修士論文の作成により多くの時間を費やすことができます。

※ 科目等履修生として認定社会福祉士研修科目の単位修得された方は、その後、本学通信制大学院の社会福祉学専攻に正科生として入学をすることで、認定社会福祉士認証・認定機構の「大学院ルート」により認定社会福祉士をめざすことが可能となります。

在学期間

1年間（2年間まで継続可）

（注1）レポート提出は2月末まで。

（注2）1年間で単位修得できなかった科目は、2年目も継続することが可能ですが、改めて履修登録ならびに授業料（1単位あたり15,000円）が必要です。

（注3）2年目に継続する際、新たな科目を履修登録することが可能です。

履修可能単位数

10単位（1年間）

学費

入学検定料（出願時にかかる費用）

項目	*本学卒業生等	本学卒業生以外	摘要
入学検定料	—	20,000円	—

※出願時に料金分の普通為替証書（郵便局で購入）を出願書類に同封。

諸納付金（入学時にかかる費用）

項目	*本学卒業生等	本学卒業生以外	摘要
入学金	—	30,000円	—
授業料	15,000円	15,000円	1単位あたり
厚生費	10,000円	10,000円	学生総合保険等

※入学手続き期間内に一括納入。 ※スクーリング受講料、教科書代を含む。

※科目等履修生は、「奨学金制度」「学割証」の利用はできません。

*本学卒業生等とは

- ①本学学部を卒業後直ちに本学大学院に進学した者
- ②本学学部又は大学院を過去に卒業または修了した者
- ③本学で現に雇用されている常勤の教職員
- ④本学の関連法人（社会福祉法人東北福祉会及び医療法人社団東北福祉会）の職員であり、関連法人から、リーダー養成の一環として推薦された者
- ⑤本学学生の実習受入れ等に協力することについて本学との間で協定を締結した施設や団体の職員であり、当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された者
- ⑥現に福祉や医療等の現場で仕事に携わっており、キャリア形成のため、本学大学院の科目等履修生となり、スキルアップ講座または履修証明プログラムに参加した者

履修方法

『東北福祉大学通信制大学院 募集要項 2025』P.4 の「履修方法 SR」を参照。

※対面のスクーリングは、主に「仙台駅東口キャンパス」にて実施予定です。

履修可能科目

【共通基礎科目】

社会福祉原論	2 単位
ソーシャルワーク論*	2 単位
ソーシャルワークリサーチ・研究方法論（実践研究・実証研究の方法）	2 単位
社会福祉歴史研究・学説史研究の方法	2 単位
情報解析方法論	2 単位
質的研究方法論	2 単位
福祉プログラム開発と評価*	2 単位

【選択科目】

生活困窮者支援と貧困研究*	2 単位
社会福祉法制・権利擁護研究*	2 単位
子ども・家庭と女性福祉研究*	2 単位
高齢者福祉研究 I *	2 単位
高齢者福祉研究 II（認知症ケア研究）	2 単位
障害者福祉研究 I *	2 単位
障害者福祉研究 II（基礎的理解と臨床）	2 単位
精神保健福祉研究	2 単位
医療福祉研究 I	2 単位
医療福祉研究 II（地域連携・多職種連携）	2 単位
地域福祉研究	2 単位
福祉経営・マネジメント研究 I	2 単位
福祉経営・マネジメント研究 II（リスクマネジメント研究）	2 単位
国際福祉研究	2 単位
災害福祉研究	2 単位
身体機能障害特論	2 単位
特別研究講義 I（公開講座）	1 単位
特別研究講義 II（TFU 実学臨床研究セミナー）	2 単位

*：認定社会福祉士研修認証科目

●各科目のスクーリング開講予定日、シラバスは、1 月中に HP に掲載予定です。

●受講希望者が多い科目については、選考の結果、変更していただく可能性がございます。

募集定員

若干名

出願資格

- (1) 修士の学位を有する者。
- (2) 大学を卒業した者。
- (3) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者。
- (4) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。
- (7) その他大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※認定社会福祉士研修として受講する場合は、次のいずれについても満たす必要があります。

1. 社会福祉士有資格者
 2. 社会福祉士取得（登録）後、相談援助実務経験が 5 年以上ある者
- ただし、最終学歴が大学卒業以上の場合は社会福祉士の実務経験を 3 年以上とする。

出願期間

2025 年 1 月 20 日（月）～ 2 月 19 日（水）必着

※出願状況によっては、3 月 10 日（月）〆切で追加募集の可能性あり。（実施有無ほか詳細は 2 月下旬に HP にて確認してください）

出願書類一覧

必要書類		留意事項
1	入学志願書[A]・[B]	(1) 指定用紙（本冊子巻末）を使用してください。 ※用紙は HP からダウンロードも可能。 (2) 入学志願書[A]に写真を貼付してください。 (3) 黒インクまたは黒ボールペンを使用し自筆で記入してください。 (4) 氏名・生年月日は、住民票の記載どおりに記入してください。 ※職歴欄に書ききれない場合は別紙を用いてご提出ください。
2	普通為替証書 入学検定料 20,000 円 (本学卒業生等は不要)	入学検定料分の普通為替証書を郵便局で購入し、出願書類に同封してください。 ※現金でのお支払いは受け付けておりません。 ※本学卒業生等に該当する方のうち、卒業生以外の方は、該当者であることを証明する書類を提出してください。
3	(本学卒業生等の方) 当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された証明となる、「推薦書（要公印）」	P.32 に記載の本学卒業生等のうち、④⑤の当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された者に該当する場合は、その証明となる「推薦書（要公印）」（様式任意）を提出してください。
4	卒業証明書	出身大学発行で厳封したもの。※本学（通学・通信）の卒業生も同封が必要です。
5	成績証明書	出身大学発行で厳封したもの。※本学（通学・通信）の卒業生も同封が必要です。
6	志望理由書	(1) 日本語 1,000 字程度で、志望理由をご記入ください。手書き、パソコン印字どちらでも可。 (2) 手書きの場合は、本冊子巻末の指定用紙を使用してください。※用紙は HP からダウンロード可能。 (3) パソコン印字の場合は、用紙は A4 判、横書き、1 ページの印字は 1 行 40 字×40 行、文字サイズ 10.5 ポイント、余白は上・下・左・右とも 30mm で設定してください。また、本冊子巻末の指定用紙を参考に、冒頭に志望する専攻等・氏名を記入してください。
7	戸籍抄本	証明書が旧姓で発行される場合に提出してください。

8	履修科目選択用紙	入学許可後の履修科目の変更はできません。 ※スクーリング開講予定日に出席できること、およびシラバスにて科目の内容を確認のうえ、選択記入してください。
9	社会福祉士の登録証（コピー）	認定社会福祉士研修の科目として単位修得をめざす方は、社会福祉士の登録証（コピー）を提出してください。
10	障がい（疾病）に ともなう受験（修学） 配慮希望申請書	(1) 出願者ご自身の疾病や障がいによる配慮を希望する場合に提出してください。 (2) 指定用紙（本冊子巻末）を使用してください。※用紙はHPからダウンロードも可能。 (3) 「出願時」および「入学後」それぞれについて、配慮を必要とする事項を記入して提出してください。 (4) 疾病や障がいの状況を確認できる資料のコピーを添付してください。 例：障がい者手帳、診断書等。

出願上の注意事項

- (1) スクーリング開講予定日に出席できることを確認のうえ、出願をお願いいたします。
なお、スクーリング開講予定日は、1月中旬にHPに掲載予定です。
- (2) シラバスにて科目の内容を確認のうえ、出願をお願いいたします。なお、シラバスは、1月中旬にHPに掲載予定です。
- (3) 出願後の履修科目変更、追加、取消はできません。
- (4) 一度履修登録した科目については、スクーリングに出席できなかった場合でも履修費の返金はありません。
- (5) オンライン授業があるため、パソコンの所持、自身で操作ができる必要があります。インターネット環境も必須です。
パソコンやインターネットの推奨環境については、本冊子21ページをご参照ください。
- (6) 国外在住の方への送付物は日本国内の住所に。書面（様式自由）で事前申告が必要です。

選考方法

書類選考

合格発表

2025年3月11日（火）発送

※選考結果に関して電話等での問い合わせには一切応じられません。

入学手続き

入学手続期間 2025年3月11日（火）～3月25日（火）

- ・合格者には「合格通知書」「誓約書・保証書・同意書」を送付。
諸納付金の「納入依頼書」を別便で送付。
- ・入学手続期間内に「誓約書・保証書・同意書」提出、学費納入が完了することで「入学」が確定。
- ・入学手続期間内に入学手続き完了をしない場合、入学を辞退したものとみなす。

【学費納入後の入学辞退について】

- (1) まずは通信制大学院事務室へ電話にて連絡。
- (2) メールによる入学辞退届の申し出（受験番号、氏名、辞退理由を明記）。
※2025年3月31日までに当事務室へメールで申し出。
- (3) (2) 入学辞退の申し出後、当事務室から入学辞退および返金手続きに必要な書類を送付。
- (4) (3) の返金手続きに必要な書類を記入し、2025年4月15日までに郵送で提出。
- (5) 必要書類が到着後、入学金および振込手数料を除いた諸納付金を返金。
- (6) 2025年4月15日まで辞退届がない場合は、一切返金いたしません。

履修証明プログラムのご案内

履修証明プログラムとは

大学院において、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書が交付できる制度です（詳細は文部科学省の HP 参照）。

- ※ 履修証明プログラムの一般履修生として受講した方で将来本学大学院（通学・通信）の社会福祉学専攻修士課程に正科生としてご入学を希望される場合、選及的措置（科目等履修生として受講した場合の総費用との差額分を納入）により、入学後の「単位認定（15 単位まで）」及び「単位認定時の学費減免」が可能になります。単位認定により正科生として課程を修了するために必要な単位修得に割く在学中の学修時間を軽減でき、修士論文の作成により多くの時間を費やすことができます。
- ※ 履修証明プログラムの一般履修生として認定社会福祉士研修科目の単位修得された方は、その後、本学通信制大学院の社会福祉学専攻に正科生として入学をすることで、認定社会福祉士認証・認定機構の「大学院ルート」により認定社会福祉士をめざすことが可能となります。

開設プログラムについて

■プログラム名「高度な実践力と実践研究力を身につける福祉等人材養成プログラム」

近年地域社会や家族が変化し多様化する中で、絶えず新しい知識と技術を習得し、新しく生じる社会課題に適切に対応する力を身につけること、高度専門職として成長することが求められている福祉等関係専門職者の方を対象として、60 時間以上履修登録し合格した修了者に「履修証明書」を発行いたします。

※本プログラムは、2022 年 12 月に文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定されました。

■開設授業科目

*：認定社会福祉士研修認定科目

	授業科目	授業時間	選択必修	自由選択	備考
1	ソーシャルワーク論*	22.5	◎		1 科目以上 選択必修
2	子ども・家庭と女性福祉研究*	15	◎		
3	高齢者福祉研究 I *	15	◎		
4	障害者福祉研究 I *	15	◎		
5	福祉プログラム開発と評価*	22.5	◎		
6	特別研究講義 II（TFU 実学臨床研究セミナー）	22.5		○	—
7	生活困窮者支援と貧困研究*	15		○	
8	特別研究講義 I（公開講座）	12		○	
9	実践事例検討とスーパービジョン	22.5		○	

●各科目のスクーリング開講予定日、シラバスは、1 月中に HP に掲載予定です。

●「9 実践事例検討とスーパービジョン」については定員等受講に制限を設けるため、入学後に履修登録の変更をしていただく可能性があります。

■受講方法

※受講方法の一例は下記のとおりです。

①事前課題（レポート）⇒②スクーリング受講（オンデマンドと対面の混合）⇒③事後課題（レポート）

■履修証明書発行要件

年度末までに上記の科目一覧から 60 時間以上履修し合格した方に「履修証明書」を発行します。

■受講期間

【一般履修生】 1 年間（2 年間まで可）※出願書類「履修証明プログラム履修生許可願」の履修期間にて事前申告。

【正科生、科目等履修生】 東北福祉大学 通信制大学院 募集要項 2025 による

■学費

【一般履修生】 検定料 10,000 円（普通為替証書を郵便局で購入し、出願書類に同封してください。）

登録料 20,000 円 } （選考が通った方に、納入依頼書を送付）

授業料 100,000 円 } ※2 年間で受講する場合も同額。

【正科生、科目等履修生】 東北福祉大学 通信制大学院 募集要項 2025 による

募集概要

(1) 募集定員

10名

(2) 出願資格

【一般履修生】※下記 1) 2) とともに満たしていること。

- 1) 福祉等関係専門職者であること（社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、公認心理師、介護福祉士など）。
- 2) 下記①～⑦のいずれかに該当すること。
 - ①修士の学位を有する者。
 - ②大学を卒業した者、または 2025 年卒業見込みの者。
 - ③学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2025 年 3 月学士の学位を授与される見込みの者。
 - ④外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ⑤文部科学大臣の指定した者。
 - ⑥大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。
 - ⑦その他、大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

【正科生、科目等履修生】 東北福祉大学 通信制大学院 募集要項 2025 による

※認定社会福祉士研修として受講する場合は、次のいずれについても満たす必要があります。

1. 社会福祉士有資格者
2. 社会福祉士取得（登録）後、相談援助実務経験が 5 年以上ある者
ただし、最終学歴が大学卒業以上の場合は社会福祉士の実務経験を 3 年以上とする。

(3) 出願期間

2025 年 1 月 20 日（月）～ 2 月 19 日（水）

※出願状況によっては、3 月 10 日（月）〆切で追加募集の可能性あり。（実施有無ほか詳細は 2 月下旬に HP にて確認してください）

(4) 出願書類

【一般履修生】

- 1) 入学志願書[A]・[B]（本冊子巻末の指定用紙を使用。※ HP からダウンロードも可能。）
- 2) 志望理由書（本冊子巻末の指定用紙を使用。※ HP からダウンロードも可能。）
- 3) 卒業（見込）証明書、成績証明書、必要に応じて戸籍抄本
- 4) 福祉等関係専門職者であることを証明する書類（資格登録証等）
※認定社会福祉士研修の科目として単位修得をめざす方は、社会福祉士の登録証（コピー）も同封。
- 5) 履修証明プログラム履修生許可願（本冊子巻末の指定用紙を使用。※ HP からダウンロードも可能。）
- 6) 履修希望科目登録用紙（本冊子巻末の指定用紙を使用。※用紙は HP からダウンロードも可能。）
- 7) （希望者は）障がい（疾病）にともなう受験（修学）配慮希望申請書（本冊子巻末の指定用紙を使用。
※ HP からダウンロードも可能。）

【正科生、科目等履修生】

東北福祉大学 通信制大学院 募集要項 2025 による

(5) 出願上の注意事項

- 1) スクーリング開講予定日に出席できることを確認のうえ、出願をお願いいたします。
なお、スクーリング開講予定日は、1 月中に HP に掲載予定です。
- 2) シラバスにて科目の内容を確認のうえ、出願をお願いいたします。なお、シラバスは、1 月中に HP に掲載予定です。
- 3) 出願後の履修科目変更、追加、取消はできません（2 年目の延長時も含む）。
- 4) 一度履修登録した科目については、スクーリングに出席できなかった場合でも履修費の返金はありません。
- 5) オンライン授業があるため、パソコンの所持、自身で操作ができる必要があります。インターネット環境も必須です。
パソコンやインターネットの推奨環境につきましては、本冊子 21 ページをご参照ください。
- 6) 国外在住の方への送付物は日本国内の住所に。書面（様式自由）で事前申告が必要。

(6) 選考方法

書類選考

(7) 選考結果通知

2025 年 3 月 11 日（火）発送

※選考結果に関して電話等での問い合わせには一切応じられません。

(8) 受講手続き

【一般履修生】

- ・受講手続き期間 2025 年 3 月 11 日（火）～ 3 月 25 日（火）
- ・受講許可者には「選考結果通知書」を送付。学費（登録料・授業料）の「納入依頼書」を別便で送付。
- ・受講手続き期間内に納付金の振込が完了することで「受講」が確定。

【正科生、科目等履修生】 東北福祉大学 通信制大学院 募集要項 2025 による

(9) 受講辞退について

- 1) まずは通信制大学院事務室へ電話にて連絡。
- 2) メールによる受講辞退届の提出（様式自由：受験番号、本人自筆の署名・捺印、辞退理由）。
※ 2025 年 3 月 31 日までに当事務室へメールで申し出。
- 3) 2) 辞退の申し出後、当事務室から返金手続きに必要な書類を送付（入金済みの場合）。
- 4) 3) の返金手続きに必要な書類を記入し、2025 年 4 月 15 日までに郵送で提出。
- 5) 必要な書類が到着後、授業料から振込手数料を除いた金額を返金。
- 6) 2025 年 4 月 15 日まで辞退届がない場合は、一切返金いたしません。

(10) 留意事項・その他

- 1) 受講手続き期間内に手続きが完了しない場合、受講を辞退したものとみなします。
- 2) 会場スクーリングは、主に仙台駅東口キャンパスで実施します（科目により、ウェルコム 21、国見キャンパス、ステーションキャンパス館で実施することもあります）。
- 3) 履修登録したすべての科目に合格した年度で修了となります。
- 4) 一般履修生として受講した方が将来大学院に入学を希望される場合、遡及的措置（科目等履修生費用との差額分納入）により「単位認定」及び「単位認定時の学費減免」が可能になります。

東北福祉大学の個人情報保護に関する基本方針(抄)

東北福祉大学は、個人情報保護の重要性を深く認識し、以下の方針に基づき、個人情報保護法（平成15年法律第59号）を適正かつ確実に執行し、もって本学の保有する個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報の取得について

本学は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得します。

2. 個人情報の利用および提供について

- 1) 本学は、個人情報の利用目的をできる限り特定し、機関誌やホームページ等で公表します。
- 2) 本学は、法令に基づく場合や事前に本人の同意を得た場合を除き、利用目的以外の目的のために個人情報を利用し、または第三者に提供することはありません。
- 3) 本学は、個人情報の取り扱いを業務委託する場合には、他に漏えいしないよう適正な監督を実施します。

3. 個人情報の管理について

- 1) 本学は、個人情報の紛失、改ざんおよび漏えい等を防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルス等に対する適切なセキュリティ対策を講じます。
- 2) 本学は、個人情報の正確性を保ちます。

4. 利用目的通知・開示・訂正・利用停止について

本学は、個人情報主体が自己の個人情報について、利用目的通知、開示、訂正および利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの請求がある場合には、迅速かつ適切に対応します。

5. 組織・体制

- 1) 本学は、個人情報管理責任者と個人情報管理者を置き、教職員その他の事業者に対し、個人情報の適切な取り扱いに関し必要とされる教育、研修等を実施します。
- 2) 本学は、個人情報保護委員会を設け、個人情報の取り扱いに関する重要事項を審議し、また、開示等の請求に対する不服申立てについて適切に対応します。

6. 本方針の実施・改善等

本学はこの方針を実施するための個人情報保護規程等を定め、教職員その他の従業者に周知徹底させます。また、改善すべき点があれば、今後とも適切に対応していきます。

7. 個人情報の問い合わせ窓口

本学の個人情報の取り扱いについてご不明な点やご質問がありましたら、本学総務局総務課までご連絡ください。内容等により、当該情報を所管する管理者に接続させていただきます。

東北福祉大学総務局総務課 TEL. 022-717-3311

募集要項請求時にお知らせいただいた個人情報の利用目的について

募集要項請求時にお知らせいただいた個人情報は、大学案内・募集要項の送付や入学説明会のご案内以外の目的に利用することはありません。

出願時にお知らせいただいた個人情報の利用目的について

入学志願書に記載された皆様の個人情報は、入学選考や入学許可証・副教材等の発送、初年度納付金の請求等入学受付・許可業務に必要な範囲でのみ利用いたします。初年度納付金の請求にあたっては、一部の業務の外部委託を行っていますが、個人情報の管理については適正な監督を実施いたします。また、個人が特定できない統計的なデータとして、今後の本学の学生募集・教育活動の改善に利用させていただく場合があります。

入学許可後初年度納付金を納入され学生になられた皆様やその保証人の皆様の個人情報は、入学後の大学からのお知らせや学籍・成績管理、学習支援・相談、進路支援・相談、学納金請求、学割・証明書発行、学校行事参加時の緊急連絡等学生の教育と安全管理のために必要な範囲でのみ利用いたします。

2025 年度入学説明会

Web 上で事前のお申込みをお願いいたします。

東北福祉大学仙台駅東口キャンパスで行い、会場は当日館内にてご案内いたします。

通信課程単独（職員による個別対応）

9/1（日）	時間はWebで確認
9/28（土）	
11/ 2（土）	
12/14（土）	
2/ 2（日）	

通学課程と合同（教員・在学生による全体説明）

7/13（土）	10:30 ～ 12:00
11/ 9（土）	

※受付は、10:00 開始になります。

※大学院の担当教員及び在学生の話を聞くことができます。

※全体説明後、個別に相談を受け付けます。

入学説明会の参加お申し込みはこちらから



お問い合わせ

電話 022-292-8011

受付時間／平日 9:00 ～ 17:00 ※水曜日は電話対応を休止しております。

休業日／日曜日、祝日、8月12日～16日、12月28日～1月5日

FAX 022-292-8012

郵送 〒983-8511（本学専用郵便番号）

仙台市宮城野区榴岡 2-5-26 3階

東北福祉大学 通信制大学院事務室 宛

Email tsukyo@tfu.ac.jp

※電話・FAX・Email は通信教育部と共通になりますので、「通信制大学院事務室への問い合わせ」であることをはじめにお知らせください。

出願期間（4月入学のみ）

I期 2024年10月28日（月）～11月28日（木）必着

II期 2025年1月20日（月）～2月19日（水）必着

※くわしくはP.19をご参照ください。



【JR仙台駅から】

- 2階東西自由通路から東口へ。宮城野通を進んですぐ左側
- 東西地下自由通路を東口方面へ。「出入口1」から地上に出てすぐ

【地下鉄東西線 宮城野通駅から】

- 「北1口」から地上に出てすぐ。交差点の左前方



東北福祉大学 通信制大学院事務室

〒983-8511

仙台市宮城野区榴岡 2-5-26 3階

TEL.022-292-8011 FAX.022-292-8012

Email tsukyo@tfu.ac.jp

<https://www.tfu.ac.jp/tushin>